

目標	指標	データソース	5年後の目標値	令和7年度		R7実績値	令和8年度
				実施方針	実施状況		
「スポーツ」と「市民」と「宗像市」と共に創る 笑顔輝くむなかたのまち							
基本方針Ⅰ スポーツで市民の心と身体の健康づくり							
施策目標① 自分の健康状態に適したスポーツに取り組める(◆)							
スポーツを行っている者の増加	「成人の週1回30分以上の運動やスポーツを行っている者」の割合	市民アンケート	50.0%	▽日頃の成果の発表の場となるウォーキング大会を開催する。 ▽健康課、子ども家庭センター、国保医療課など各課との連携を図り、各地区への出張教室等を計画する。	▽日頃の成果の発表の場となるウォーキング大会として、「弥生ウォーキングむなかた」を3/8(日)に開催予定。 ▽スポーツサポートセンター事業として、健康課と連携し、介護予防教室参加者へのインボディ測定を実施した。また、子ども家庭センターと連携し、親子リズム体操を月1回開催した。	46.0%	▽スポーツサポートセンター事業への継続的な参加者に対し、引き続き、教室等を実施する。 ▽スポーツに無関心な人、スポーツサポートセンター事業の取組み以外に運動をしていない人等を対象に、参加者が民間サービスに加入する等の日常的な運動習慣に繋がる仕組みを検討・構築する。
	「成人の週1回30分以上の運動やスポーツを行っている者」の割合	5年後の文化スポーツ課アンケート	50.0%			—	
	「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施している人」の割合	法定報告	57.0%			42.1%	
施策目標② 市民が地区ごとに自宅から歩けるウォーキングコースを知っている(◆)							
ウォーキングコースを知っている者の増加	ウォーキングコースを知っている者の割合	5年後の文化スポーツ課アンケート	推進地区で20.0%	▽コミュニティ運営協議会や健康課スポーツ推進委員等と連携して推進地区や推進方法(実施計画)等を決定する。	▽推進地区として選定することは行わなかったが、玄海地区で、スポーツ推進委員を中心に「玄海のびのびウォーク」を実施した。	—	▽引き続き、スポーツ推進委員と連携し、各地区でウォーキングコースの普及につながる取組みが実施できるよう、支援する。
施策目標③ 健康意識が高まり、新たにスポーツを始める人が増えている							
(再掲) スポーツを行っている者の増加	「成人の週1回30分以上の運動やスポーツを行っている者」の割合	市民アンケート	50.0%	▽エイコーウェルや健康課等と連携して、各地区で行われている教室や健康無関心層をターゲットに、インボディ等の機器で体の状態の見える化、その体の状態の解説、望ましい改善方法の共有を行う。	▽スポーツサポートセンター事業として、各地域で開催されている運動教室に出向き、インボディ測定とそのフィードバック、自宅でできる運動の紹介を行った。	46.0%	(再掲) ▽スポーツに無関心な人、スポーツサポートセンター事業の取組み以外に運動をしていない人等を対象に、参加者が民間サービスに加入する等の日常的な運動習慣に繋がる仕組みを検討・構築する。
	「成人の週1回30分以上の運動やスポーツを行っている者」の割合	5年後の文化スポーツ課アンケート	50.0%			—	
	「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施している人」の割合	法定報告	57.0%			42.1%	
スポーツを通じた健康づくりに関する相談支援件数の増加	スポーツを通じた健康づくりに関する相談支援件数	実績	100件/年			345件/年	▽多様なスポーツ団体、民間企業と連携して運動教室やイベント等を開催し、その参加者が民間サービスに加入する等の日常的な活動に繋げる仕組みを構築する。この教室やイベント等を開催する手法のひとつとしてアウトリーチによるアプローチを実施する。

目標	指標	データソース	5年後の目標値	令和7年度		R7実績値	令和8年度
				実施方針	実施状況		
基本方針2 誰もがスポーツを楽しむことのできる環境づくり							
施策目標① 誰もが気軽にスポーツに取り組める(★◆)							
(再掲) スポーツを行っている者の増加	「成人の週1回30分以上の運動やスポーツを行っている者」の割合	市民アンケート	50.0%	▽スポーツ体験事業の展開について(一社)スポーツ協会等と連携して方針(実施計画)等を決定する。 ▽(一社)スポーツ協会等と連携して、市内のスポーツ教室の整理並びに情報の蓄積及び更新方法(実施計画)等を決定する。	▽今後の方針決定には至っていないが、年間を通して、(一社)スポーツ協会による体験教室やスポーツサポートセンター事業による全世代型スポーツ体験教室を実施した。 ▽情報発信については、進め方等について調整に着手できなかった。	46.0%	▽引き続き、年間を通して、(一社)スポーツ協会による体験教室やスポーツサポートセンター事業によるスポーツ体験教室を実施する。 ▽情報発信については、情報の集約や最適な発信に向けて、調整及び検討を行う。
	「成人の週1回30分以上の運動やスポーツを行っている者」の割合	5年後の文化スポーツ課アンケート	50.0%			-	
	「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施している人」の割合	法定報告	57.0%			42.1%	
	スポーツを行っていない者の減少	「運動やスポーツを行っていない者」の割合	5年後の文化スポーツ課アンケート			35.0%	
施策目標② スポーツの体験→練習→仲間づくりができる(★)							
体験できる教室の設置	体験できる教室の数	実績	5種目	▽(一社)スポーツ協会等と連携して推進種目や推進方法(実施計画)等を決定する。	▽体験教室については、年間を通して、(一社)スポーツ協会による体験教室やスポーツサポートセンター事業による全世代型スポーツ体験教室を実施した。 ▽スキルアップ教室や競い合う教室の設置については、着手できなかった。	-	(再掲)▽引き続き、年間を通して、(一社)スポーツ協会による体験教室やスポーツサポートセンター事業によるスポーツ体験教室を実施する。 ▽スキルアップ教室や競い合う教室については、今後の取組方針について、(一社)スポーツ協会や民間企業等との役割分担を含めて整理する。
スキルアップできる教室の設置	スキルアップできる教室の数	実績	5種目			-	
共通の目的を持った者が集って競い合う教室の設置	共通の目的を持った者が集って競い合う教室の数	実績	5種目			-	
団体加入率の増加	団体加入率	5年後の文化スポーツ課アンケート	16.0%			▽(一社)スポーツ協会等と連携して各種スポーツの体験の場を提供するとともに、その後のフォローアップとして興味を持った方を各単位協会や民間スポーツ施設等へ繋ぐ。 ▽体験教室については、年間を通して、(一社)スポーツ協会による体験教室やスポーツサポートセンター事業による全世代型スポーツ体験教室を実施した。 ▽その後のフォローアップについては、具体的な取組を行うことができなかった。	
施策目標③ スポーツを継続する人のために、その目標となる成果発表の場がある(★◆)							
成果発表の場の設置	成果発表ができる種目の数	実績	19種目	▽グローバルアリーナや(一社)スポーツ協会と連携して推進種目や推進方法(実施計画)等を決定する。	▽(一社)スポーツ協会と協議のうえ、単位協会ごとに成果発表の場を年1回以上設けることとした。	17種目	▽(一社)スポーツ協会と連携し、単位協会ごとの成果発表の場を年1回以上設ける。
施策目標④ 市民のニーズに合ったプログラムを提供している(★◆)							
アンケートでニーズの多いプログラムの提供	プログラムの種目の数	実績	3種目	▽グローバルアリーナや(一社)スポーツ協会と連携して推進種目や推進方法(実施計画)等を決定する。	▽令和6年2月に実施したアンケートの結果、ニーズの多いプログラムはバドミントン、ダンス、ヨガ・エアロビクス、ウォーキングであった。しかし、その実施に向け具体的な調整は実施できなかった。	-	▽ニーズの多いプログラムの実施に向け、(一社)スポーツ協会や民間企業等と情報共有し、実現に向けた最適な手法を検討する。
施策目標⑤ 障がいの有無にかかわらずスポーツに親しむことができる							
スポーツや文化芸術活動等への参加率の増加	スポーツや文化芸術活動等の参加率	実績	26.0%	▽エイコーウェルやグローバルアリーナ、(一社)スポーツ協会と連携して推進種目や推進方法(実施計画)等を決定する。	▽水泳協会と連携し、障がい者水泳体験教室を実施した。 ▽スポーツ推進委員と連携し、ニュースポーツの普及に取り組んだ。	-	▽水泳協会と連携し、引き続き、障がい者水泳体験教室を実施する。 ▽スポーツ推進委員と連携し、障がい者も参加できるニュースポーツの体験会を開催する。
施策目標⑥ スポーツの継続年数にかかわらず、スポーツを通じて楽しさや喜びを実感し続けることができる							
スキルや目的に合った教室の設置	スキル等に合わせた選ぶことができる教室の数	実績	4教室	▽グローバルアリーナや(一社)スポーツ協会と連携して推進種目や推進方法(実施計画)等を決定する。	▽スキルや目的にあった教室の設置については、着手できなかった。	-	▽(一社)スポーツ協会や民間企業等と協議の場を持ち、検討に着手する。
上記教室の指導者の育成や確保	上記教室に携わる指導者の人数	実績	4人			-	
施策目標⑦ スポーツを始めるきっかけとしてeスポーツの普及について研究している							
-	-	-	-	▽エイコーウェル等と連携して研究方法(実施計画)等を決定する。	▽eスポーツの普及については、着手できなかった。	-	▽どのように研究していくかについて、検討に着手する。

目標	指標	データソース	5年後の目標値	令和7年度		R7実績値	令和8年度
				実施方針	実施状況		
基本方針3 子どもがスポーツを楽しめる機会の創出							
施策目標① 幼児期から様々なスポーツを体験できる(★◆)							
幼児対象の体験教室の増加	体験できる種目の数	実績	2種目	▽エイコーウェルやグローバルアリーナ、(一社)スポーツ協会と連携して推進種目や推進方法(実施計画)等を決定する。 ▽子ども家庭センター等関係各課と連携し実施計画等を決定する。	▽スポーツサポートセンターの取組みとして、子ども家庭センターと連携し、幼児とその親で参加できる親子リズム体操を月1回開催した。	1種目	▽(一社)スポーツ協会や民間企業等と連携し、幼児対象の教室を実施する。
スポーツが好きな小学5年生の増加	「運動が好きな小学5年生」の割合	学校アンケート(全国体カテスト)	66.0%	▽グローバルアリーナや(一社)スポーツ協会と連携して推進種目や推進方法(実施計画)等を決定する。	▽スポーツサポートセンター事業として、小中学生を対象としたスポーツ体験教室を年間通して実施した。	60.6%	(再掲)▽引き続き、年間を通して、(一社)スポーツ協会による体験教室やスポーツサポートセンター事業によるスポーツ体験教室を実施する。
施策目標② すべての中学生が取り組みたいスポーツを行うことができる(◆)							
中学生対象の様々な教室の設置	種目の数	実績	10種目	▽中学生の活動状況などを調査し、ニーズにあったクラブが設置できるよう、また部活動地域移行後の受け皿の一つとなるクラブの設置を(一社)スポーツ協会やグローバルアリーナなど関係機関と連携し計画する。	▽認定地域クラブの立ち上げについては、卓球、剣道、サッカー、野球の相談があり、河東中学校で卓球の立ち上げが完了した。 ▽認定地域クラブの活動支援については、夜間の活動支援として移動式照明を導入した。 ▽不足する部活動の受け皿づくりとして、引き続き、むなかたアカデミークラブを運営した。	認定地域クラブ 9種目	▽引き続き、中学校部活動廃止後の受け皿づくりのため、認定地域クラブの立ち上げや運営支援を実施する。
中学生対象の学校以外の場での教室の設置	種目の数	実績	3種目	▽クライミングやアーバンスポーツ等の学校で行われないスポーツを中心に、南の郷クラブや民間事業者と連携して推進種目や推進方法(実施計画)等を決定する。	▽新たな種目の推進について、具体的な検討を行うことができなかった。	—	▽中学生を受け入れている地域クラブについて、集約した情報を適宜更新しながら、情報発信する。
スポーツが好きな中学2年生の増加	「運動が好きな中学2年生」の割合	学校アンケート(全国体カテスト)	50.0%	▽小学生や幼い時期からスポーツ、運動を身近に感じてもらい、スポーツを継続してもらえるよう体験会などを行う。 ▽部活動地域移行後の受け皿の一つとなるクラブの設置を(一社)スポーツ協会やグローバルアリーナなど関係機関と連携し計画する。	▽体験会などの実施については、年間を通して、(一社)スポーツ協会による体験教室やスポーツサポートセンター事業による全世代型スポーツ体験教室を実施した。 (再掲)▽認定地域クラブの立ち上げについては、卓球、剣道、サッカー、野球の相談があり、河東中学校で卓球の立ち上げが完了した。 (再掲)▽認定地域クラブの活動支援については、夜間の活動支援として移動式照明を導入した。 (再掲)▽不足する部活動の受け皿づくりとして、引き続き、むなかたアカデミークラブを運営した。	48.7%	(再掲)▽引き続き、年間を通して、(一社)スポーツ協会による体験教室やスポーツサポートセンター事業によるスポーツ体験教室を実施する。 (再掲)▽引き続き、中学校部活動廃止後の受け皿づくりのため、認定地域クラブの立ち上げや運営支援を実施する。
施策目標③ 子どもがトップスポーツ選手と交流できる(◆)							
トップスポーツ選手との交流事業の実施	交流事業の回数	実績	2回/年	▽グローバルアリーナにて開催される国際大会やプリンセス駅伝、トップチームの合宿の情報発信を行うとともに、市民との交流事業を行い、スポーツを身近に感じることができる取り組みを実施する。	▽(株)グローバルアリーナと連携し、海外チームの選手と市内高校生との交流事業を実施した。 ▽プリンセス駅伝の出場チームと連携し、市内小学校での陸上体験教室を実施した。	5回/年 駅伝2回 ラグビー2回 新体操1回	▽引き続き、市内で開催されるスポーツ大会の参加者と連携し、市民との交流事業に取り組む。

目標	指標	データソース	5年後の目標値	令和7年度		R7実績値	令和8年度
				実施方針	実施状況		
基本方針4 スポーツ活動を支える基盤体制の整備							
施策目標① それぞれの取り組みにおいて適した指導者がいる(★)							
(再掲)上記教室の指導者の育成や確保	上記教室に携わる指導者の人数	実績	4人	▽グローバルアリーナや(一社)スポーツ協会と連携して推進種目や推進方法(実施計画)等を決定する。	▽指導者の育成や確保につながる取り組みは、検討できなかった。	—	▽部活動の地域展開の取り組みに合わせて、指導者の情報を集約する仕組みを検討する。
施策目標② 相談できる環境が整っており、市民がそれを知っている(★◆)							
(再掲)スポーツを通じた健康づくりに関する相談支援件数の増加	スポーツを通じた健康づくりに関する相談支援件数	実績	100件/年	▽エイコーウェルや健康課等と連携して、各地区で行われている教室や健康無関心層をターゲットに各地区へ出向き、インボディ等の機器で体の状態の見える化、その体の状態の解説、望ましい改善方法の共有を行う。 ▽イベントにて出張インボディ測定などを実施し、地域住民の健康をサポートする。	(再掲)▽スポーツサポートセンター事業として、各地域で開催されている運動教室に出向き、インボディ測定とそのフィードバック、自宅ですることができる運動の紹介を行った。	345件/年	▽多様なスポーツ団体、民間事業者と連携して、アウトリーチやインリーチによる運動教室やイベント等を開催し、その中で健康づくりに関する相談支援を行う。
上記の支援体制の市民の認知	知っている市民の割合	5年後の文化スポーツ課アンケート	アクアドーム 76.0%	▽アウトリーチによる相談支援等の際にスポーツを通じた健康づくりに関する相談支援体制の周知を行う。 ▽スポーツサイトの在り方を含め、スポーツに関する様々な支援体制の情報発信について(一社)スポーツ協会等と連携して方法(実施計画)等を決定する。	▽ホームページやLINE等で、教室等の開催にあたっての情報発信を行った。	—	▽引き続き、ホームページやLINE等で情報発信を行う。 (再掲)▽情報発信については、情報の集約や最適な発信に向けて、調整及び検討を行う。
			(一社)スポーツ協会 30.0%			—	
			相談支援体制 30.0%			—	
施策目標③ 市民のスポーツできる場を確保している							
種目数の維持	種目数	実績	19種目	▽各単位協会において充実した活動が行えるよう、補助金を交付するなど(一社)スポーツ協会を介して支援を行う。 ▽市民スポーツ活動の推進について(一社)スポーツ協会と連携して推進種目や推進方法(実施計画)等を決定する。	▽(一社)スポーツ協会と連携し、単位協会の活動の場を引き続き確保できるよう、補助金を交付した。	—	▽引き続き、(一社)スポーツ協会と連携し、市民スポーツ活動の推進に向け、(一社)スポーツ協会に加盟している単位協会の活動の支援を行う。
面数の維持	面数	実績	屋内施設 バスケット 40面 温水プール 25m×7コース	▽市民が市内スポーツ施設(市民体育館、勤労者体育センター、玄海B&G海洋センター、有料公園、運動広場、弓道場)を安全安心に利用できるよう関係団体と連携して施設の適切な維持管理を行う。	▽(一社)スポーツ協会や利用者からの施設の不具合の問合せに応じて、修繕等を行い、施設の維持管理を行った。	屋内施設 バスケット 40面 温水プール 25m×7コース	▽引き続き、市民が市内スポーツ施設を安全安心に利用できるよう、(一社)スポーツ協会等と連携して施設の適切な維持管理を行う。
			屋外施設 野球場5面 テニスコート 11面 弓道場			屋外施設 野球場5面 テニスコート 11面 弓道場	
稼働率の維持	稼働率	実績	屋内施設93.0%	▽市民が市内スポーツ施設(市民体育館、勤労者体育センター、玄海B&G海洋センター、有料公園、運動広場、弓道場)を快適に利用できるよう関係団体と連携して施設の適切な維持管理を行う。 ▽また、施設を可能な限り多くの方に利用してもらえよう指定管理者と連携して、施設の予約管理を適切かつ円滑に行う。	(再掲)▽(一社)スポーツ協会や利用者からの施設の不具合の問合せに応じて、修繕等を行い、施設の維持管理を行った。 ▽(一社)スポーツ協会と連携し、施設利用の予約管理を適切かつ円滑に行った。	屋内施設 86.0%	
			屋外施設50.0%			屋外施設 50.5%	
施策目標④ 地域スポーツの課題が明らかになり、スポーツ推進委員と連携してそれらに取り組んでいる							
スポーツ推進委員の支援体制の維持	支援回数	実績	20回/年	▽各研修会の参加や地域の体力テストの指導、スポーツ推進のための事業実施に係る連絡調整並びに市民に対するスポーツの実技指導、その他スポーツに関する指導及び助言を円滑に行えるよう、スポーツ推進委員事業に対し支援する。	▽各研修会への参加や、地域の体力テストの指導へ円滑に参加できるよう、関係機関との確実な調整を実施した。 ▽地域からの派遣依頼の要望に対応するため、ニュースポーツの研修を定例会で行い、より充実したスポーツ推進委員の事業となるよう支援した。	72回(R7.12月未現在)	▽引き続き、関係機関と連携し、体力テストの指導や各研修会への参加に向けて調整する。 ▽スポーツ推進委員主催のスポーツ体験イベントの開催に向け、円滑に遂行できるよう支援する。
スポーツ推進委員との連携による地域課題解決事業の推進	委員の延べ参加人数	実績	484人/年	▽上記のとおり		206人(R7.12月未現在)	

目標	指標	データソース	5年後の目標値	令和7年度		R7実績値	令和8年度
				実施方針	実施状況		
施策目標⑤ スポーツ施設に関する計画に基づく施設の集約・複合化や既存施設の有効活用等を着実に実行している							
-	-	-	-	▽アセットマネジメント推進計画や長寿命化計画等のスポーツ施設に関する計画に基づく施設の集約・複合化や既存施設の有効活用等を着実に実行する。	▽市民体育館、勤労者体育センター、玄海B&G海洋センター、アクアドームについて、躯体の健全度調査を実施した。 ▽市民体育館については、キュービクルの更新工事を行った。また、指定避難所であることを踏まえ、空調設備設置工事に向けた実施設計を行った。	-	▽R6に実施した利用実態等総合調査と、R7に実施した躯体健全度調査を踏まえ、市内スポーツ施設の今後の在り方を決定する。 ▽市民体育館については、キュービクルの更新工事と空調設備設置工事を、予定通り完了するよう調整を行う。
施策目標⑥ 市民が施設にアクセスしやすくなる対策を研究している							
-	-	-	-	▽スポーツ施設に関する方針（令和7年度決定予定）に基づき、施設にアクセスしやすくなる対策についてどのような研究を行うか決定する。	▽施設にアクセスしやすくなる対策については、研究を実施できなかった。	-	▽市内スポーツ施設へのアクセスしやすくなる対策について研究する。
施策目標⑦ 世代や地域を超えて交流できる場がある							
南の郷クラブの会員数の増加	南の郷クラブの会員数	実績	154人	▽南の郷クラブの定例会議やイベント等の運営に関わり、十分な活動が行われるよう必要な支援を行う。また、市広報紙やホームページを活用して、多くの市民に南の郷クラブを知ってもらえるよう広報を行う。	▽定例会議に出席し、委員と情報共有を行った。 ▽南の郷クラブの周知のため、HPで活動を周知した。 ▽南郷ぐるっとウォーキングの運営支援として、横断幕・掲示物の印刷、広報紙やHPでの情報発信、大会当日の準備～片付け、司会を行った。	107人(R7.12月末現在)	▽南の郷クラブの会員数の増加に向け、引き続き、定例会議への出席や情報発信などの運営支援を行う。
施策目標⑧ 市民が市内でスポーツ観戦（トップスポーツ）をしている							
市内観戦者数の増加	「市内で観戦したことがある者」の割合	5年後の文化スポーツ課アンケート	10.0%	▽市内で行われるスポーツ大会について情報収集を行い、HPやSNS、広報紙、チラシなどを活用し情報発信を行う。	▽プリンセス駅伝の開催にあたり、広報紙やSNS、HPでの情報発信に加えて、チラシを作成し、全戸配布及び毎日新聞への折込を行った。また、宗像経済新聞と連携して、コース紹介等の動画を作成し大会前にYouTubeで配信した。 ▽ワールドドラッグビューユースの案内については、市のSNS、大会チラシ、ポスターを通じた大会の案内を実施した。	-	▽市内で行われるスポーツ大会について情報収集を行い、HPやSNS、広報紙、チラシなどを活用し情報発信を行う。
施策目標⑨ （一社）スポーツ協会に「★」を推進する基盤体制が構築できるよう体制の整備に努める							
-	-	-	-	▽市民体育館、勤労者体育センター、玄海B&G海洋センター、弓道場、運動広場の管理運営、19校の学校開放施設の運営、有料公園施設の利用の管理等、多くの公共施設の管理事業を行っている（一社）スポーツ協会の体制について、将来、（一社）スポーツ協会がこれらの管理事業とスポーツの普及推進を目的とした事業を区分して取り組めるよう、本市のスポーツ推進の全体の体制について庁内で協議を行う。	▽R8年度からの体育施設の管理に関する指定管理業務の検討にあたり、（一社）スポーツ協会を非公募で選定することを決定した。	-	▽引き続き、（一社）スポーツ協会と連携し、指定管理業務や学校開放業務、有料公園の管理業務を行う。 ▽これらの業務で得たノウハウや単位協会との連携により、市スポーツ推進計画を推進するための体制について、協議を行う。

目標	指標	データソース	5年後の目標値	令和7年度		R7実績値	令和8年度
				実施方針	実施状況		
基本方針5 「伝わる」効果的な情報の発信							
施策目標① 市民が次のサービスを知っている ①施設で何ができるか ②施設の使い方やルール ③スポーツ用具の貸出制度 (★)							
認知度の増加	認知度	5年後の文化スポーツ課アンケート	①60.0%	▽市ホームページや情報発信(蓄積)サイトの見直し等について、方法(実施計画)等を決定する。	▽市広報紙とSNSを最大限に活用しつつ、詳細な情報を掲載する際は、市HPやスポーツサポートセンターHPを活用した。	—	▽「②施設の使い方やルール」についての情報発信に重点をおき、市HP等の情報を市民目線になって整理し、発信する。 ▽情報発信は、多様な媒体を活用して積極的に発信する。 ▽欲しい情報に簡単にたどり着きやすく、継続的に活用しやすいサイトとなるよう情報発信(蓄積)サイトの基盤の整理(サイトの場所やデザイン等)を行う。
			②60.0%			—	
			③15.0%			—	
施策目標② 毎年、市広報紙でスポーツの体験→教室(練習)→仲間づくり→成果発表の場(→観戦(見学))を情報発信している							
情報発信の定着	市広報紙への掲載回数	実績	1回/年	▽スポーツの体験や教室、仲間づくり、成果発表、スポーツ観戦の場をホームページやSNSだけでなく、広報紙も活用しながら周知し、より多くの人に情報を届ける。	(再掲)▽市広報紙とSNSを最大限に活用しつつ、詳細な情報を掲載する際は、市HPやスポーツサポートセンターHPを活用した。	イベントや教室ごとに1回	(再掲)▽「②施設の使い方やルール」についての情報発信に重点をおき、市HP等の情報を市民目線になって整理し、発信する。 ▽情報発信は、多様な媒体を活用して積極的に発信する。 ▽欲しい情報に簡単にたどり着きやすく、継続的に活用しやすいサイトとなるよう情報発信(蓄積)サイトの基盤の整理(サイトの場所やデザイン等)を行う。
施策目標③ 「◆」の情報を発信している							
情報発信の定着	市広報紙への掲載回数	実績	1回/年	▽スポーツに関する情報発信の強化月間を設け、スポーツ施策に関する情報を市広報紙で発信する。	▽市内の市広報紙掲載基準により、「スポーツに関する情報発信の強化月間」という形での広報紙への掲載はできなかったが、イベントごとの広報紙での情報発信は掲載可能な範囲で行った。併せて、市HPにより詳細な情報を掲載した。	0回/年	(再掲)▽「②施設の使い方やルール」についての情報発信に重点をおき、市HP等の情報を市民目線になって整理し、発信する。 ▽情報発信は、多様な媒体を活用して積極的に発信する。 ▽欲しい情報に簡単にたどり着きやすく、継続的に活用しやすいサイトとなるよう情報発信(蓄積)サイトの基盤の整理(サイトの場所やデザイン等)を行う。
施策目標④ 情報発信(蓄積)サイトが充実している							
サイト認知度の増加	認知度	5年後の文化スポーツ課アンケート	25.0%	▽欲しい情報に簡単にたどり着きやすく、継続的に活用しやすいサイトとなるよう情報発信(蓄積)サイトの基盤の整理(サイトの場所やデザイン等)を行う。	▽掲載ページごとの内容見直しは行ったが、サイト全体の整理はできなかった。	—	(再掲)▽「②施設の使い方やルール」についての情報発信に重点をおき、市HP等の情報を市民目線になって整理し、発信する。 ▽情報発信は、多様な媒体を活用して積極的に発信する。 ▽欲しい情報に簡単にたどり着きやすく、継続的に活用しやすいサイトとなるよう情報発信(蓄積)サイトの基盤の整理(サイトの場所やデザイン等)を行う。
施策目標⑤ 発信した情報が市民のもとへ確実に届いている							
(再掲)サイト認知度の増加	認知度	5年後の文化スポーツ課アンケート	25.0%	▽上記のとおり	(再掲)▽掲載ページごとの内容見直しは行ったが、サイト全体の整理はできなかった。	—	(再掲)▽「②施設の使い方やルール」についての情報発信に重点をおき、市HP等の情報を市民目線になって整理し、発信する。 ▽情報発信は、多様な媒体を活用して積極的に発信する。 ▽欲しい情報に簡単にたどり着きやすく、継続的に活用しやすいサイトとなるよう情報発信(蓄積)サイトの基盤の整理(サイトの場所やデザイン等)を行う。
施策目標⑥ 宗像市のイベントが市外の人にも興味を持ってもらえている							
同一イベントの市外視聴率の増加	市外視聴率(プリンセス駅伝)	実績	6.3%	▽プリンセス駅伝の市外視聴率を上げるため、テレビ・SNSを活用した視聴者プレゼントの実施やチラシ等での大会PRを行う。	▽視聴者が宗像市に興味を持ち、足を運んでもらえるよう、視聴者プレゼントを実施した。また、宗像経済新聞と連携して、コース紹介や大会を支える人たちの動画を作成し、YouTubeにて配信を行った。	5.1%	▽プリンセス駅伝の市外視聴率を上げるため、テレビ・SNSを活用した視聴者プレゼントの実施やチラシ、其他媒体を活用した大会PRを行う。

目標	指標	データソース	5年後の目標値	令和7年度		R7実績値	令和8年度
				実施方針	実施状況		
基本方針6 “むなかた”の地域資源を活用したスポーツ観光等の推進							
施策目標① 毎年、子どもたちに海に親しむ機会を提供している（◆）							
維持	提供件数	実績	25コマ/年	▽5月から9月までの期間で、小学5年生の児童を対象に、勝浦浜海洋スポーツセンターにて海洋性スポーツ体験授業を実施する。	▽5月から9月の期間において、市内小学校12校を対象に海洋性スポーツ体験授業を実施した。	26コマ/年	▽引き続き、5月から9月までの期間で、小学5年生の児童を対象に、勝浦浜海洋スポーツセンターにて海洋性スポーツ体験授業を実施する。
施策目標② プリンセス駅伝が継続されるよう支援を行っている（◆）							
持続	実績	実績	5年継続	▽プリンセス駅伝が継続されるよう引き続き市民や日の里、東郷、玄海地区の地域、スポーツ推進委員、（一社）スポーツ協会、福岡教育大、日赤看護大、東海大福岡高、宗像高、玄海中、交通安全協会、福岡教育大、日赤看護大、東海大福岡高、宗像高、玄海中、交通安全協会、トヨタ自動車九州と連携して大会運営(主催者)のサポートを行う。	▽プリンセス駅伝の開催にあたって、日の里、東郷、玄海地区、スポーツ推進委員、（一社）スポーツ協会、福岡教育大、日赤看護大、東海大福岡高、宗像高、玄海中、交通安全協会、トヨタ自動車九州、郵便局からボランティアに協力いただき大会運営のサポートを行った。	開催	▽引き続き、プリンセス駅伝の開催にあたって、地域やスポーツ推進委員、（一社）スポーツ協会、学校、民間企業等と連携し、ボランティアをはじめとした運営支援を行う。 ▽ボランティア数が減少傾向にあるため、その他にも連携可能な団体等はないか、検討する。
施策目標③ ホストタウン交流による子どもの異文化交流ができてきている（◆）							
持続	交流件数	実績	5件/年	▽グローバルアリーナで開催されるブルガリアフェスティバルにおいて来日するカザンラック民族舞踊団やサニックスCup国際新体操団体選手権で来日するブルガリア・レフスキー新体操クラブとのホストタウン交流等、市民交流を進める。	▽カザンラック民族舞踊団やレフスキー新体操クラブと連携し、幼稚園と小学校で交流事業を実施した。	4件 カザンラック3件 レフスキー1件	▽引き続き、グローバルアリーナで開催されるブルガリアフェスティバルにおいて来日するカザンラック民族舞踊団やサニックスCup国際新体操団体選手権で来日するブルガリア・レフスキー新体操クラブとのホストタウン交流等、市民交流を進める。
施策目標④ 世代ごとのラグビーを通じた交流やラグビーの試合、観戦の提供が行われるように支援を行っている（◆）							
持続	来場者数	実績	4,000人/日（休日）	▽一般財団法人サニックススポーツ振興財団と連携して、子どもから大人まで世代ごとのラグビーの交流事業を実施する。 ▽市民にワールドラグビーユースの試合の案内を行う。	▽一般財団法人サニックススポーツ振興財団と連携し、市内高校と大会に参加する海外チーム(韓国、フィジー)との交流を実施した。 ▽大会会場を盛り上げるバグパイプバンドと連携し、道の駅むなかたや宗像大社などでの演奏会、中学校との交流事業を実施した。 ▽ワールドラグビーユースの案内については、市のSNS、大会チラシ、ポスターを通じた大会の案内を実施した。	5日間： 23,807人 平均：4,761人	▽引き続き、一般財団法人サニックススポーツ振興財団と連携して、子どもから大人まで世代ごとのラグビーの交流事業を実施する。 ▽市民にワールドラグビーユースの試合の案内を行う。
施策目標⑤ 市内の民間スポーツ施設等のスポーツ資源を有効に活用している							
活用数の増加	活用数	実績	6回/年	▽セカンドスクールやむなかたキッズセブン等の事業をグローバルアリーナ等の施設を有効活用し効果的に実施する。	▽(株)グローバルアリーナと連携しむなかたキッズセブンをグローバルアリーナで実施した。 また、セカンドスクールの実施にあたり、減免制度を活用し、グローバルアリーナの利用に寄与した。 ▽全世代型スポーツ体験教室の実施にあたり、グローバルアリーナやリパティ体操クラブ、東海大学付属福岡高校等で開催した。	6回/年	▽市内の民間スポーツ施設等を有効活用し、効果的に実施する。